



お徒歩おちでいく

お散歩って？
お散歩（おかし）は昔のよみがえりですが、意味は今も同じで、「要り物を使わず歩くこと」です。
仁尾は昔ながらの静まの里の家や畑の路地が多く、ゆのくり通り歩くのが似合います。

1 電話番号

電話を取得した順番に1番から75番までの番号が割り当てられました。1番はどこにあるでしょうか？



まちかどにある守り神。屋根の上には狐や竜などの動物が飾られています。どんな動物がいるか探してみよう。



江戸時代に商家が多かった仁尾は、松賀屋、田野屋など、今でも屋号で呼ぶ習慣があります。



お徒歩でいく

仁尾なつかし味めぐりのご案内

土曜限定

完全予約制

お徒歩でいく「仁尾なつかし味めぐり」は、仁尾の古い町並みや江戸時代から続く屋号などの「歴史」、中華そばや天ぷらなどの「なつかしい食」を、ガイドと一緒に巡りながら楽しむミニツアーです。

味めぐり内容

-  伊藤製パン所
お母さん自慢の味「揚げパン」
-  きるしや
アツアツ「アブリ」天ぷら
-  長兵衛またはふたば
懐かし昭和の味「中華そば」
-  仁尾酢
老舗の醸造所が作った「フループ DE 酢」
-  植村屋
素材にこだわった「和洋菓子」

実施概要・ご予約

- 実施日** 毎週土曜日11:00～(所要時間約2時間30分)
※8月、9月は実施しません。
- ご利用人数** 2～10名様(満員になり次第受付終了)
- 料金** ●大人(中学生以上)2,000円
●小学生1,000円
※会費、ガイド料を含む。当日現金します。
- 集合場所** 仁尾町文化会館(10:50までに)
- 注意事項** キャンセルの場合、2日前の水曜日17時までのキャンセル料は無料。
前日のキャンセルは料金の半額、当日のキャンセルは料金を全額をお支払い頂きます。
[現金予約制です]で発行2日前の水曜日17時までに三豊市観光協会に電話にて予約ください。
- ご予約お問合せ** 三豊市観光協会 〒769-1406 三豊市仁尾町仁尾幸34-2
電話:0875-56-9121 FAX:0875-56-9122

集合場所のご案内



仁尾の名前の由来

仁尾の名前の由来は、似瀧(瀧に似る)。仁尾の南側父方山より続く崎と弁天崎に囲まれた瀬戸内海の景色が、あたかも瀧のように見えるから。仁尾(二つの尾無に囲まれた場所)などいろいろな説があります。
(新修仁尾町史より)



平石

大見島沖にある、120センチほどの長さがある巨大な平たい石。丸亀のお城様があったので、「磯り石」とも呼ばれています。



曾保みかん

瀬風と日当たりの良い斜面で育つ曾保地区の長崎のみかんはブランドマーク(商標)で知られています。



仁尾八朔人形まつり

店先に風船をつくり、人形を使っておとぎ話や歴史上の人物などを表現するイベント。ふるさとイベント大賞受賞。9月の連休に開催。



マーガレット

マーガレットの生産量が全国一。ちなみにマーガレットのみかんは「ギリシャ」産の「青果」。花言葉は「真実の愛」。



大鷲・小鷲

大見島へは渡船で5分。春は桜やツバキがキレイ。小見島には瀬戸内でも有名な貝殻産地がある。寺・香などが見られます。



張子虎・節句人形

子どもの健やかな成長を祈って、端午の節句や八段舞りの飾りとして作られてきた伝統的工芸品です。



太陽のまち

全国でも日照時間が長い仁尾。1981年4月6日、世界初の太陽熱発電が仁尾で完成しました。仁尾太陽館は1日3万人も来場するほどの盛況でした。



仁尾竜まつり

見物客が水をはねる中、わだて作られた巨大な竜が、担ぎ手によってまちを練り歩く。8月の第1土曜日に開催。



仁尾茶

仁尾産が主産品の参勤交代の歴史を持つ頃から、高知の幕府茶を仁尾茶として販売することが持たれ、仁尾は一着豊かになりました。幕末の大ヒット商品。

仁尾買いもん

季節交代や干支などが由りする縁起として選んだ仁尾は、各地から様々なモノが集まりました。また、丸亀藩から酒・酢・醤油の醸造業の許可を与えられ、大いに繁栄しました。大島が軒を並べ、近隣のまちから仁尾へ買い物に行くので「仁尾買いもん」という言葉が使われたほどです。



父母ヶ浜海岸

遠浅の砂浜で、夏は海水浴で賑わいます。水平線に沈む夕陽は日本の夕陽百選にも選ばれ、美しい仲間。近隣の農業地にもなっています。



塩田

大正・昭和と仁尾の中心的な産業として栄えました。塩田は仁尾の街と似てくれないの大きさがありません。